

東京都内の医療機関に対する実施状況等調査

(1) 調査目的

各医療機関の実施状況や検査体制を把握し、東京都の新生児聴覚検査体制整備に活用するとともに、区市町村及び関係機関等で共有し、多面的な支援につなげる。

(2) 主な調査項目

- ・分娩取扱数
- ・検査機器の保有状況
- ・検査の実施状況

(3) 調査対象

都内分娩取扱施設164施設 うち回答133施設 (81%)

都内耳鼻咽喉科施設154施設 うち回答112施設 (73%)

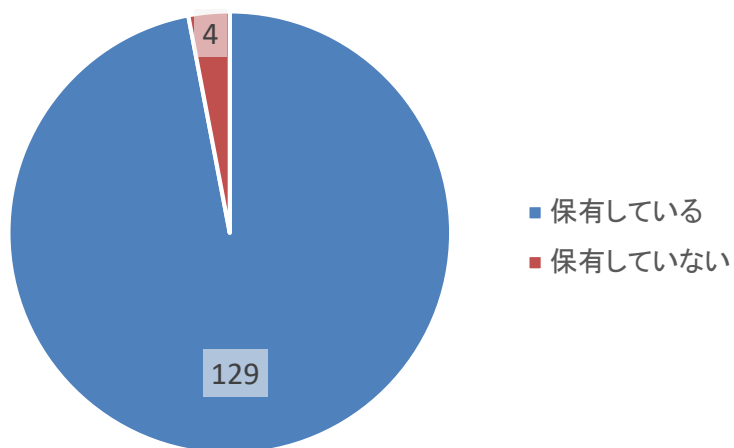
(4) 調査時期

令和4年7月

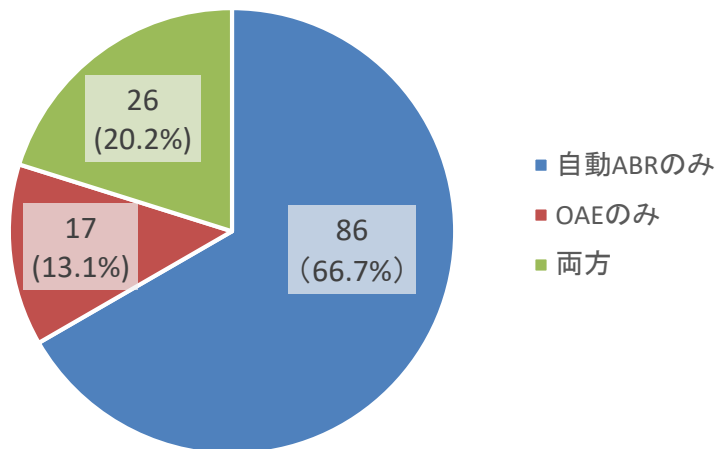
医療機関に対する実施状況等調査結果（抜粋）

I 分娩取扱施設

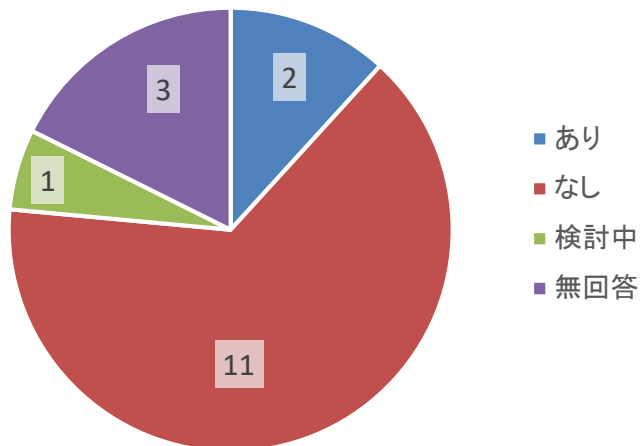
1 検査機器の有無



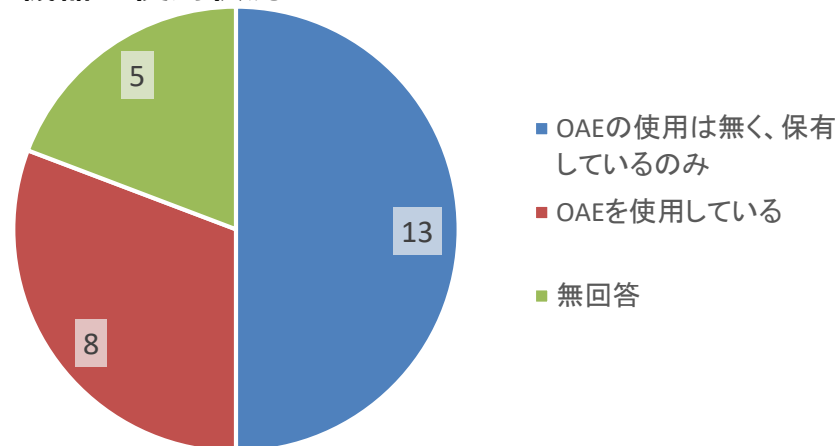
2 保有している検査機器の種類



3 自動ABRの導入予定



4 両方の検査機器を所有する医療機関における機器の使用状況



【参考】◇耳鼻咽喉科施設への調査結果

- 1 他院で生まれた新生児の検査受入れの有無 有り22施設（20%） 無し90施設（80%）
 2 検査で使用する検査機器の種類（重複回答有） 自動ABR 10施設 OAE 9施設 ABR 10施設 ASSR 4施設 COR 1施設
 ※OAEのみ保有と回答した施設は2施設